



42歳 無所属

twitter でフォローして下さい！

逗子葉山だいすけ

www.kondo-daisuke.jp



被災地支援続行中！！

近藤は地元有志とSSPCというプロジェクトを立ち上げ、被災地と神奈川の高校生の交流事業をサポートしています。被災地の復興にはまだまだ時間がかかることから、次代を担う子どもたちを積極的に支援していきたいと思えます。皆様のご協力をお願いいたします。

DAISUKE's Profile

家族：妻・一男・一女
身長：187 cm / 体重：73 kg
星座：山羊座 / 血液型：O型
趣味：釣り・音楽鑑賞・料理
特技：ドラムが叩ける
潜水で50m泳げる

‘98～‘06 逗子市議会議員(3期4選)
‘07～神奈川県議会議員(現在2期目)

- 所属委員会等
- ◎議会運営委員会
- ◎建設常任委員会
- ◎議会改革検討会議
- ◎神奈川県総合計画審議会
- ◎逗子市総合計画審議会
- ◎葉山町総合計画審議会

近藤だいすけ神奈川県議会ニュース vol.14

発行部数:4万部 発行日:2012年3月31日 配布地域:逗子市・葉山町
近藤だいすけ事務所 〒249-0006 神奈川県逗子市逗子3-6-7
Tel/Fax:046-873-8744 E-mail:daisuki@kondo-daisuke.jp

県議会第一回定例会(2/14～3/23)で黒岩知事が初めて本格編成した平成24年度県当初予算が成立しました。

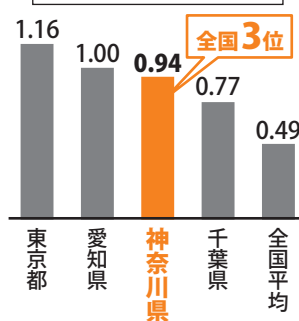
一般会計 1兆7,730億円(前年度9月本格予算比-1.7%)
全会計総額 2兆8,131億円(前年度9月本格予算比-0.1%)

また県総合計画『かながわグランドデザイン構想』、人件費削減に関する条例など、計90議案を決定しました。

財政力指数は全国3位でも、政策的予算わずか8.3%と歳出は硬直化！

神奈川県は大規模法人が多く、県民所得が比較的高いことから全国的に見ると県税収入の割合が高く、平成19年～22年の財政力指数は全国3位です。しかし急速に進む高齢化で介護・措置・医療関係費が7年間で2倍に増加し(H.17 / 1,392億円→H.24 / 2,634億円)、人件費や公債費などを加えた義務的経費の割合が歳出の約8割となり、投資的政策予算は8.3%(1,463億円)のみです。

財政力指数の全国比較



財政力指数…地方公共団体の財政力を示す指数。数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い団体ということになる。

防災対策費は724億円(前年比96億円増)

このように厳しい財政状況にも関わらず、前年度を大きく上回る地震・防災対策の推進費が盛り込まれました。

市町村地震対策緊急推進事業 上限1,500万円、1/3補助	3億円
木造住宅の耐震化支援 上限25万円/件	1億2,450万円
急傾斜地崩壊対策事業	約52億円
道路橋りょう、港湾、鉄道等の安全対策	約274億円
津波高潮対策 相模湾沿岸海岸の養浜、津波の河川遡上対策の検討調査等	約143億円
海水浴場に津波監視カメラなどを設置	2,100万円
国道134号に道路情報板を設置 津波警報などの情報を示す情報板を設置	4億4,200万円
県庁代替施設、総合防災センターの整備 県庁の被災に備え、通信網やバックアップ機能を整備	1,018万円
救急医療訓練ビックレスキューかながわ実施 自衛隊医療部隊と連携した訓練を県・市町村合同で実施	8,628万円

災害対策強化のために各地で視察レポート

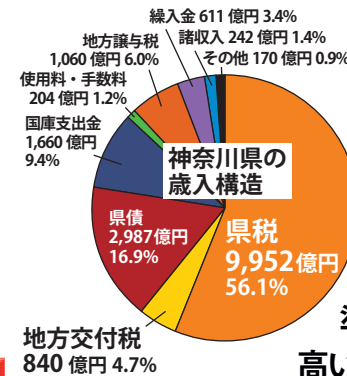


放射線物質が検出された県広域下水道汚泥焼却灰の現地視察。約5千トンが山積みされている。写真の近藤が立っている場所の放射線量は0.3μSvですが、8m離れると0.05μSvでした。

浜岡原発の地震津波対策調査。福島事故を受けリスク管理は強化されているが、原発の不確実性は拭い去れない。

H15年に起きた北海道南西沖地震による津波で大被害を受けた奥尻島を調査。漁港区域に建設された人口地盤。

奥尻島沿岸部を取り囲むように建設された高さ11mの防潮堤。最大遡上高は30.6m、ハード対策の限界を痛感した。



強い神奈川を創る！観光振興の促進や成長産業の支援を！

神奈川県は他県に比べて人口が多く、基礎的な財政需要が高水準にあり、法人関係税収のウェイトが高い収支状況です。そのためここ数年の

景気低迷のあおりで、県財政は危機的な状況にあります。

今年度は予算編成時に約900億円の財源不足が見込まれ、施策・事業の見直し(132億円)や人件費の抑制(20億円)等を行うとともに基金(400億円)を取り崩し、何とか収支の均衡を得ました。

この危機的な状況を乗り越えるために県は様々な取組を行なっていますが、自主財源の確保のため、近藤が常々重要性を訴えている観光振興や、再生可能エネルギー・医療関係の成長産業の活性化策を打ち出す等、雇用や産業創出につながる神奈川の成長戦略が必要です。

最小の経費で最大の行政サービスを！

地域の事は住民が主体的に決める「地域主権社会」実現のためには、県の権限を市町へ移譲し県は広域事務に純化した小さな県政を目指す必要があります。あわせて近隣都県と連携して事務を行う「都道府県広域連携」や「道州制」の導入も見据えた神奈川の大解体が必要です。

黒岩知事のマニフェストにあたる、神奈川県新総合計画が決定しました！

近藤が審議員の一員として携わってきた県総合計画『かながわグランドデザイン構想』が2025年の将来像に向け策定されました。県の行政計画の最上位にあるこの計画は、東日本大震災・原発事故を踏まえ『エネルギーの安定的な確保』『災害対策の抜本的な見直し』『くらしの安全・安心の一層の確保』の視点から、従来の政策の方向性を整理したものです。(http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4895/p434921.html)

実施計画・プロジェクトが任期と同じ事から黒岩知事にとっては実質的にマニフェストと言える内容です。『①防災政策の強化・原発に過度に依存しない新しいエネルギー政策を柱とする』『②3年先までの財源の裏付けがある(3年間の総事業費3,270億円)』『③目標が数値化され進捗状況がチェックできる』、この3つは大いに評価します。



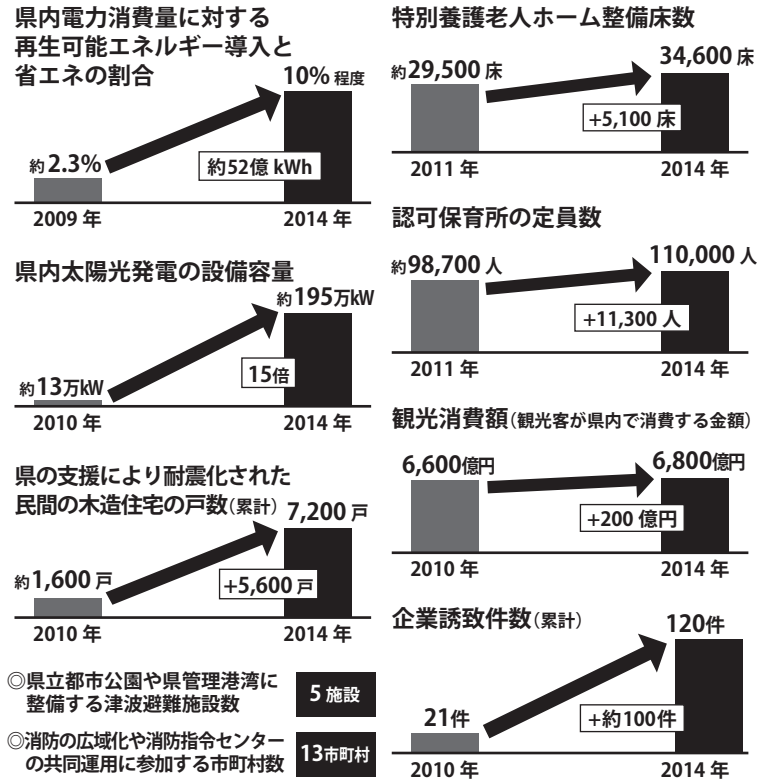
Daisuke's Answer

県にお金がないって言ってるけど、人件費をもっと削ったらいいのでは？

たしかに神奈川県は歳出に対する人件費が42.6%と、全国平均29.2%を大きく上回り、県財政硬直化の一因となっています。しかしこの人件費の多くは教職員・警察官のものであり、やみくもに削減することはなりません(そもそも定数が法令で定められているため県独自の削減は難しい)。県ではこの15年間で知事部局職員を4割以上削減し、人口10万人当たりの一般行政部門職員数82.1人と700万人以上の都府県で全国最小を達成しました。しかし人口増加の影響で教職員7.2%、警察官15.6%と増加したため、大きな改善は見られていないのが現状です。

近藤らは平成22年度に議員定数を107名から90名に削減する議員提案をしました(議会で賛成少数でした)が、議会自らの改革を今後も積極的に訴えます！

かながわグランドデザイン構想の主な数値目標



逗子市・葉山町での主な都市整備事業

- 1 逗子海岸砂浜の回復と保全
- 2 県道311号電線の地中化(鎌倉葉山)
- 3 田越川護岸の整備
- 4 県営逗子桜山団地の整備
- 5 国道134号道路情報板の設置
- 6 葉山港の再整備
- 7 葉山海岸砂浜の回復と保全
- 8 長柄地区急傾斜地崩壊防止施設の整備
- 9 アマモ場の再生
- 10 堀内地区地すべり防止施設の整備



ようやく実現！逗葉高校で放射線モニタリングポストが稼働。

三浦半島エリアでは原子力艦船が出入りする米海軍基地と原子力燃料加工工場があるという理由で横須賀市に国・県のモニタリングポストが集中しています。しかし他市町にはモニタリングポストが無く、横須賀市の情報を基に類推せざるを得ない状況でした。近藤はこの情報格差の是正を平成19年度より県議会で指摘し続けてきましたが、それがようやく実現となりました！

平成23年9月補正予算で決定し新設された空間放射線量モニタリングポスト5基が、4月2日より稼働しました。うち1基は県立逗葉高校に設置されています。10分ごとに測定されたデータが県衛生研究所に集められ、文部科学省のホームページ上で公表されています。(http://radioactivity.mext.go.jp/map/ja/area2.html)



近く、逗子市議・葉山町議とともに、設置状況の視察に訪れますので、ブログにて追ってレポートしたいと思います。

皆様からのご意見を、お待ちしております。

お名前 _____ ご住所 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____ @ _____

ご意見など _____

県が逗子13.6m、葉山9.1mの津波予測を発表

東北地方太平洋沖地震を踏まえ県の津波想定が見直され、巨大津波が想定される12種類の地震についてシュミレーションした新たな津波浸水予想図が3月末に確定しました。(http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f360944/)

沿岸15市町はこの予想図を基に、平成24年度より防災計画の見直し・ハザードマップの作成といった取り組みに入ります。

近藤は北海道奥尻島の巨大津波対策を視察し防潮堤等のハードによる対策の限界を痛感しました。地域防災の強化、災害時の情報伝達システムの構築などを可及的すみやかに進めるため、県と市町の連携強化を進めます！

エリア	到達が最短の場合 到達時間/津波高	津波高が最大の場合 到達時間/津波高
小坪港	24分/5.4m	81分/13.6m
逗子	28分/6.6m	81分/9.0m
葉山港	28分/5.4m	58分/9.1m
堀内	26分/5.3m	58分/8.7m
真名瀬	25分/4.6m	80分/8.4m
一色下山口	26分/5.7m	82分/7.5m

新たな津波浸水予測図 [神奈川県県土整備局/H.24.3.30] より



神奈川県は大丈夫...?

FAXにてご送信ください。
FAX番号 046-873-8744

ボランティア募集

ご近所への議会ニュースのポスティングなど、近藤だいすけの活動をサポートして下さる方、大募集中です。TEL・FAX・E-MAILでご連絡下さい。よろしくお願い致します。

